

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人山梨県交通安全協会の会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、交通安全活動をはじめ警察行政の各般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、併せて、交通事故抑止対策の推進にご尽力いただきましたことに対しまして、深く敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。

さて、昨年の県内における交通事故の発生状況は、交通安全協会をはじめ県民の皆様のご努力により、発生件数及び負傷者数ともに前年と比べて減少いたしました。

しかしながら、高齢者が関係する交通事故の割合は年々増加傾向にあり、さらに、交通事故で亡くなった方のうち、高齢者が占める割合が依然として高いこと、人口10万人当たりの飲酒事故件数が全国平均を大きく上回り、未だ飲酒運転が後を絶たないことなど、県内の交通情勢は予断を許さない状況にあります。

このため県警察におきましては、本年も「交通死亡事故抑止総合対策の推進」を重点目標に掲げ、悲惨な交通事故を1件でも減らすため、交通事故の発生実

態の分析に基づく街頭活動をはじめ、飲酒運転など悪質・危険性の高い違反など交通事故抑止に資する交通指導取締り、参加・体験・実践型の受講対象者に応じた交通安全教育、関係機関と連携した交通安全施設等の整備、「3H」(早めのライト点灯、ハイビームの活用、反射材の使用)などの交通事故抑止のための情報発信活動など、総合的な交通安全対策を強力に推進していくこととしております。

交通安全協会の皆様方におかれましては、山梨県民が安全で安心して暮らせる交通社会を実現するため、交通安全運動をはじめとする県民運動期間中の街頭活動、子供や高齢者、二輪車の交通事故防止のための大会の開催など、引き続き県警察と連携した交通事故抑止の諸対策の取組を推進していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭に当たり、山梨県交通安全協会の益々のご発展と会員及びご家族の皆様のご活躍とご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



山梨県警察本部
本部長 青山 彩子



平成30年使用交通安全年間スローガン

内閣総理大臣賞（最優秀作）



◇ 運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

ぶつかるよ ながら運転 じこのもと



◇ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

行けるはず まだ渡れるは もう危険



◇ こども部門

自転車は 車といっしょ 左側

「運転経歴証明書」の発行に伴う手数料助成

運転経歴証明書の見本

表(警察庁提供)



当協会では、高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、運転免許証を自主返納される65歳以上の高齢者の方が「運転経歴証明書」の交付を申請される場合の手数料(1,000円)を助成し、さらに申請に必要な写真も無料で撮影しております。

運転経歴証明書は、公的な身分証明書や本人確認書類としても利用できます。